

平成 26 年度研修会 報告

去る平成 26 年 6 月 15 日（日）に平成 26 年度研修会を開催しました。会場は、東京都町田市の玉川大学学術研究所心の教育実践センターを会場として、実施致しました。

今回は、「伝承遊びを取り入れた生活・総合・幼児体育での授業実践 ―けん玉の実習を通して―」をテーマに、本学会会員で、慶應義塾幼稚舎教諭の千葉雄司先生を講師に講習が行われました。

参加者の中では、ほとんど初めてけん玉に触る方もいましたが、持ち方から指導がなされて、けん玉の遊びにチャレンジしていきました。また、2本のけん玉を使った「つみ木遊び」や「幼児でもできるけん玉遊び」、「けん玉乾杯ゲーム」なども行いました。

講習の最後には、参加者全員によりけん玉道検定会も行われ、見事に全員が合格をしました。講習会の参加の良い証になったことでしょう。合格をされた皆様おめでとうございます。



～参加者の感想より～

高橋 優李（相模原市立大野北小学校）

受講にともない、児童一人ひとりの集中力の向上のみ養われるものと考えていました。しかし2人の二つ剣玉を使って、バランスゲームや積み木のように遊ぶことで他者との関わりも学ぶことができると気づきました。

そして昔遊びの一つ剣玉は、児童の巧緻性トレーニングにもなり、小学校低学年生活科で取り入れられる意図も理解することができました。

今後クラスに2つ置いて、児童がどのように遊ぶのか、他者と関わるのかを見てみたいと思います。貴重な経験をすることができました。ありがとうございました。